

月例会「大気数値シミュレーション」(第3回)のプログラム

1979年に設立された標記月例会は今年で第3回目を迎えることになりました。今回は地球大気の大循環の問題を中心に取り上げ、下記プログラムにより開催します。

日時 1981年9月4日(金)13時30分

場所 気象庁第1会議室

講演題目

1. 中村 一(東大理): 数値実験による大規模山岳効果の研究。

2. 時岡達志(気研予報): 気象研究所大気大循環モデルによる季節変化のシミュレーション。

3. 金光正郎(気象庁電計): FGGE III-b データによる大気大循環の解析。

なお次回の月例会のテーマを、そのさい討論しますので御意見をお願いします。

連絡先: 気象庁電子計算室 金光, 北出
電話 (212) 8341 (内 449)

気象研究ノート第141号発行のお知らせ

気象研究ノート第141号「エアロゾル特集(基礎編)」が発刊されます。本特集号はエアロゾルの一般的な挙動と測定法から成り、基礎編ですので総論的な記述方法です。基本的には気象学の立場で記述されておりますが、その内容は、大気汚染など他の分野のエアロゾル研究にも充分役に立つと思われまます。

定期購読者以外で申し込まれる方は、本号綴り込みの申し込みハガキを御利用下さい。通常会員価格 940円、会員外価格 1,600円、内容は以下の通りです。

第141号「エアロゾル特集(基礎編)」

- I. エアロゾルの挙動(三崎芳郎)

エアロゾルの粒径分布、粒子の生成、成長、エアロゾルの帯電、除去作用、成層圏エアロゾル、気象に与えるエアロゾルの影響。

- II. エアロゾルの測定法(1)(中谷 茂)

代表的なサンプリング、粒子の動力学的性質および光散乱現象の利用、エアロゾルの質量濃度、微量元素の分析法。

- III. エアロゾルの測定法(2)(内藤恵吉)

ライダーによる成層圏エアロゾルの観測、衛星によるエアロゾルの観測。

正誤表 (下記の通り誤植がありましたのでお詫びして訂正させていただきます)

巻号	頁	行	誤	正
28. 3	145~158	—	Streching	Stretching
〃	155	第14図(c)(図中)	Defomation	Deformation
〃	161	右27(式中)	$\left(\frac{V_s}{U}\right)^{1/3}$	$\left(\frac{V_s}{U}\right)^{2/3}$